

How to 施設管理 No13

玄関等を中心に建物内と屋外を仕切る建具、いわゆる窓などのガラスが使用されています。建具とガラスとの固定部分は、防水のために「コーキング剤」が使われています。また、風呂場、洗面所等でも、壁との接続部分に「コーキング剤」が多用されています。

コーキングされた箇所は、日々の使用により、ホコリが堆積し、そのホコリを栄養分としてカビが繁殖するため見た目が次第に損なわれてしまいます。

日常的に換気を行い、風呂場などは浴室乾燥機を使うことでカビ等の回避につながりますが、それでも年数を重ねるとホコリの堆積による「コーキング剤」の色の変化、カビ繁殖の跡などが見られるようになってしまいます。

このような場合、台所で使う「漂白剤」が色の変化、カビの跡などを除去してくれます。長時間ひたす必要があり、流れてしまうと効果半減してしまいます。これを改善するため食品に利用している「片栗粉」を「漂白剤」に混ぜて、ジェル状にすることで、除去面に貼り付ける事が可能となり、より「漂白剤」の効果が期待できると思います。

なお、漂白剤を使用するときは、化学反応によりガスが発生する場合がありますので、事前に容器等に記載されている注意事項を確認しましょう。



片栗粉と漂白剤を混ぜてジェル状にして除去面に塗布



布などで拭き取ります